

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18 38 48	○介護ケアの視点からグループホームらしい生活の質(QOL)を意識した取り組みの実施に弱さを感じるのを改善していく(取り組む)	本人本意を意識し本人の役割や生活の質を上げる取り組みを実施することでADL向上にも結び付ける取り組みの実施。	①ケアプランにQOLを意識した内容を立てる ②コロナ禍でも立地を生かした取り組みの充実 ③個別ケアが出来る業務体制の構築	12ヶ月
2	4	○運営推進会議を活かした取り組みについて 課題:コロナ禍で感染対策防止の観点から会議自体は中止している。開催が難しい場合でも郵送等で現状報告や意見をもらう取り組みが必要	開催が難しい場合でも郵送等で現状報告や意見をもらう取り組みを実施する。	①2ヶ月毎(偶数月)に実施予定の運営推進会議が開催されなくても書面での現状報告を構成メンバーや家族様に送付する。 ②自施設への意見を定期的に家族様に伺う機会を設ける(電話連絡、アンケートなどで)	2ヶ月～ 12ヶ月
3	35	○災害対策 防災訓練後に運営推進会議や地域の方参加される大原すこやか学級の場で地域参加型で一緒に考える機会を設ける	地域との関わりを大事にするグループホームで地域と一緒に考える機会を実施する。	①現状、運営推進会議はコロナ禍で開催が難しいのでまず大原すこやか学級(地域事業の場で)実施していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。